

東京の生協のまちづくり活動トピックス

今回は生協だけではなく地域でのつながりづくりをすすめる取り組みと、医療生協の取り組みを学ぶ企画について紹介します。

HAPPY*EASTER! HAPPY*EASTER! HAPPY*EASTER!

北区まちづくり 北区ならではの防災について、地域みなさんと一緒に学びあい、交流を深めました

近年、大地震や豪雨などの災害が頻発しており、万が一に備えるための防災学習会「知って、備えよう！北区内における災害リスクと私たちにできること」を2月28日(水)、北とぴあにて開催しました。講師には公益財団法人 市民防災研究所より、伊藤英司さんをお招きし、54名の参加がありました。

北区は西側の高台と東側の低地にはっきりと分かれ、標高が25mもある地形となっており、想定される水害ごとの避難行動と避難先が異なること、また荒川が氾濫すると、場所によっては5m以上もの高さまで浸水し、2週間以上ものあいだ水が引かないなど、地域で想定されている災害リスクについて学ぶことができました。

グループワークでは、マイ・タイムライン(防災行動計画)の作成や北区メールマガジンの登録、食料だけでなく携帯トイレも備蓄する、など災害からいのちを守り、被害を減らすため今からできることについて参加者どうしで交流しました。

参加者アンケートには「まず自身の命を守ること、地域での助け合いも大事だと思った。周囲の人にも知らせていきたい。」などの声が寄せられました。



伊藤英司さん



コープみらい・パルシステム東京・北東京生活クラブ生協・東都生協・東京はくと医療生協・東京ふれあい医療生協・北区社会福祉協議会

練馬区まちづくり 医療生協についてみんなで学びました

3月21日(木)、東京保健生協の大泉生協病院見学と、学習会「医療相談の現場から見てきたくらしの今」を開催しました。

大泉生協病院は24時間救急車を受け入れて、地域医療を支えている病院です。藤谷事務長の案内で最新の検査機器や病棟を見学しました。

学習会は、医療ソーシャルワーカーの工藤妙子さんからソーシャルワーカーの役割と、基本的な6つ業務についてお話を伺いました。

無料低額診療事業では、相談者の半数は国民健康保険関連の方で外国籍の相談者が増加傾向とのことや、最近の相談は複雑化・複合化した支援が必要とされるケースへの対応が多く、縦割りでは解決できない生活課題への取り組み事例について学びました。また、生松まり子理事からは、医療生協の班活動と健康の関係についてお話がありました。



工藤妙子さん



生松まり子さん



コープみらい・パルシステム東京・東都生協・生活クラブ生協・東京保健生協

東久留米市まちづくり

2月くらしフェスタくるめに出展!

生協が連携してまちづくり活動行っていることを東久留米市民に知らせたいというメンバーの思いを受け、12月に開催した「楽しもう!身体を動かそう!生協の人気企画体験会」の様子を、パネル展示やクイズで伝えました。



コープみらい・パルシステム東京・東都生協・西都保健生協

三鷹をつなげようプロジェクト「Mitaka みんなの防災フェスタ」に出展! 生協の活動を伝えました。

3月23日(土)三鷹市元気創造プラザ広場にて、「Mitaka みんなの防災フェスタ」が開催されました。NPO法人『Mitakaみんなの防災』の呼びかけで、43団体に及ぶ企業や地域での活動団体、消防などの出展がありました。防災に役立つグッズの展示や、実際に災害用伝言ダイヤルを掛けたり、火起こしや、ほどけにくいロープの結び方を体験したり、足元の悪くなった道を想定してのベビーカー押し体験など、災害時に役に立つ情報や体験コーナーがあり、時折小雨の降る寒い日にも関わらず多くの市民で賑わいました。



「三鷹をつなげようプロジェクト」ブースでは、生協商品を利用した防災備蓄品のローリングストックの展示と、北多摩中央医療生協の握力測定を行いました。展示を見た方には、備蓄品の中に甘い物も入れておくと、災害時に気持ちがホッと落ち着くのでお勧めであることと、握力測定に参加した方には握力のつけ方や手の運動で全身の血液の流れがよくなることをお伝えしました。参加の皆さんは、小雨も気にせず測定結果に一喜一憂したりと大盛況でした。200名以上の方に立ち寄っていただき、生協の活動についても市民のみなさんに広くお伝えすることができました。ブース運営メンバーも、他の出展団体ブースを楽しく学び体験しながら回り、「三鷹をつなげようプロジェクト」としてつながりづくりもすすめました。

パルシステム東京・東都生協・北多摩中央医療生協